

令和 6 年度

# 事 業 報 告

社会福祉法人 自立の里

## 目 次

◎法 人 本 部	・・・・・・・・・・・・・	1 ページ
◎障がい福祉サービス事業所 大地		
生活介護事業	・・・・・・・・・	5 ページ
日中一時支援事業	・・・・・・・・・	13 ページ
相談支援事業	・・・・・・・・・	14 ページ
放課後等デイサービス事業	・・・・・・・・・	17 ページ
◎障がい福祉サービス事業所 大空		
生活介護事業	・・・・・・・・・	19 ページ
日中一時支援事業	・・・・・・・・・	27 ページ
居宅介護事業	・・・・・・・・・	28 ページ
短期入所事業	・・・・・・・・・	32 ページ

## 法人本部

### 《総括》

- (1) 法人全体の収益構造改善に取り組み、3期連続の決算黒字となったものの、前年度末からの大地生活介護事業における利用者退所や居宅介護利用者のグループホーム入所等の影響により、安定した収支差額とは言えなかった。
- (2) 親亡き後の利用者の生活について、グループホーム検討会にてグループホーム開設の可否を検討したが、資金面や人材確保等の体制面に多くの課題があり、当面の開設は難しいと結論づけた。
- (3) ホームページやパンフレットについて、求職者やサービス利用者にとって欲しい情報を見やすく、施設の雰囲気が伝わりやすいものへと刷新した。

#### 1. 法人事業全体の収益構造改善

財務状況の分析を行い新たな報酬の加算取得、経費の削減、新規利用者の獲得など事業ごとに収益構造の改善に取り組んだ結果、3期連続で法人全体として黒字となった。

ただし、前年度末にかけて大地生活介護事業において複数の利用者が退所したことや、当年度中に居宅介護サービスの利用者が他法人のグループホームに入所したことによる減収もあり、黒字幅は前年度から大きく縮小し、余裕のある経営状況とは言えなかった。

#### 2. 親亡き後の対応

親亡き後の利用者の生活について、グループホーム開設の可否を前年度に引き続いて理事長、業務執行理事、施設長、課長によるグループホーム検討会にて協議を行った。開設費用や人員配置、運営収支等について詳細に検討を行った結果、資金面や人材確保等の体制面に多くの課題が残り、当面、グループホームの開設は難しいとの結果となった。

しかしながら、依然として当法人でのグループホーム開設を希望する声があるため、今後の国・制度改正の動向等を注視しつつ、引き続き将来的なグループホーム開設の可能性について検討していく。

#### 3. 人材確保等を目的とした広報力の強化

福岡市内でもさまざまな障がい福祉サービス事業所が存在し、新規利用者との利用契約が容易ではなくっており、人材確保の面でも人手不足が深刻化している。そのような状況を踏まえて、新たな利用者や職員の確保ができるよう、障がい福祉サービス利用希望者や求職者に対して法人の特徴をより明確に伝え、当該利用希望者等が必要な情報をより早く得られるように、令和6年度中にホームページやパンフレットを刷新した。

#### 4. その他

- (1) インフルエンザウイルス及び新型コロナウイルス等について、継続してマスクの常時着用や手洗いの励行など感染対策を実施した。
- (2) 育児・介護休業法改正や処遇改善加算制度変更に伴い、就業規則等の必要な規定の整備を行った。

(3) 前年度策定されたBCP（災害及び感染症に係る事業継続計画）に基づき、法人内での研修や訓練を行った。

## 5. 評議員会 開催状況

回数	開催日	議題
第1回	6月21日	<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について</li> <li>・第2号議案 定款変更について</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度事業計画及び収支予算について</li> </ul>
第2回	11月 7日	<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案 給食業務委託業者選考について</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームの整備・運営に関する検討結果について</li> </ul>
第3回	3月26日	<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案 監事の選任について</li> <li>・第2号議案 食事提供業務委託事業者選考結果に基づく被選考事業者との契約について</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服務規律違反等に係る職員の懲戒処分等について</li> </ul>

## 6. 理事会 開催状況

回数	開催日	議題
第1回	6月 6日	<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算について</li> <li>・第2号議案 評議員候補者の推薦について</li> <li>・第3号議案 給与規程の改正について</li> <li>・第4号議案 育児休業・育児短時間勤務に関する規則の改正について</li> <li>・第5号議案 介護休業及び介護短時間勤務に関する規則の改正について</li> <li>・第6号議案 再雇用職員規程の改正について</li> <li>・第7号議案 令和6年度定時評議員会の招集について</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について</li> <li>・基幹相談支援センターについて</li> </ul>

回数	開催日	議題
第2回	10月22日	<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案 納入業務委託業者選考について</li> <li>・第2号議案 就業規則の改正について</li> <li>・第3号議案 令和6年度第2回評議員会の招集について</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームの整備・運営に関する検討結果について</li> <li>・職務執行状況報告（理事長）</li> <li>・職務執行状況報告（業務執行理事）</li> </ul>
第3回	3月24日	<p>(1) 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1号議案 令和6年度補正予算（案）について</li> <li>・第2号議案 令和7年度事業計画（案）について</li> <li>・第3号議案 令和7年度収支予算（案）について</li> <li>・第4号議案 育児・介護休業等に関する規則の新設について</li> <li>・第5号議案 就業規則の改正について</li> <li>・第6号議案 監事候補者の決定について</li> <li>・第7号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について</li> <li>・第8号議案 食事提供業務委託事業者選考結果に基づく被選考事業者との契約について</li> <li>・第9号議案 令和6年度第3回評議員会の招集について</li> </ul> <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服務規律違反等に係る職員の懲戒処分等について</li> <li>・職務執行状況報告（理事長）</li> <li>・職務執行状況報告（業務執行理事）</li> </ul>

## 7. 社会福祉法人等指導監査（行政監査）

実施日	令和7年3月12日（書面提出）
内容・結果	指導監査（法人運営に係る監査）を実施しなかったため、指導監査ガイドライン（保健福祉局所管法人点検用）による点検を実施し、必要書類の提出を行った。

## 8. 寄贈寄附

### (1) 寄附金

区分	件数（件）	金額（円）
大地	1	100,000
大空	1	100,000
放課後デイ	1	100,000
合計	3	300,000

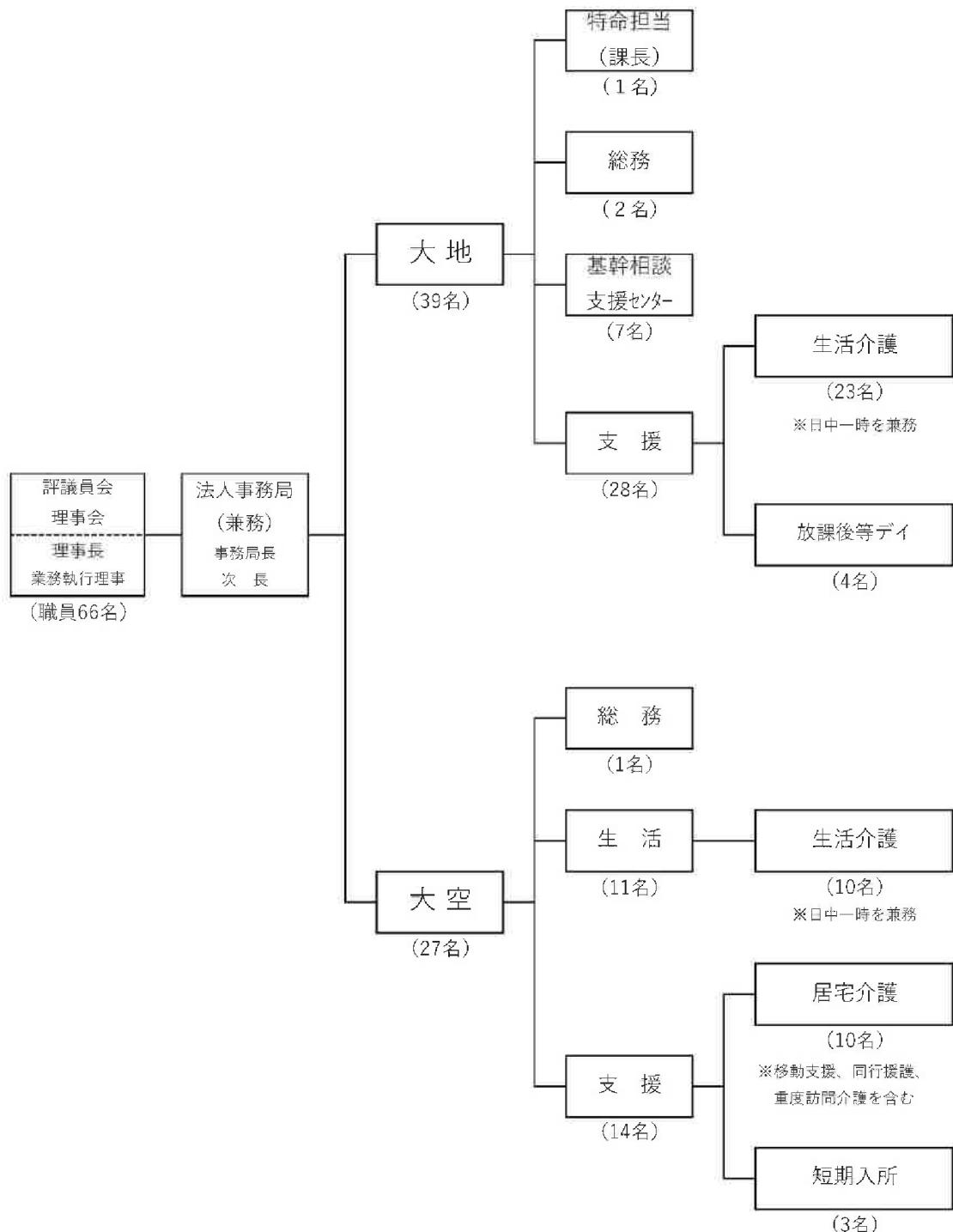
### (2) 寄贈

区分	件数（件）	品目
大空	1	送迎車（日本財団）

## 9. 職員の状況（令和7年3月31日現在）

(参考)

(参考) 社会福祉法人 自立の里 組織図



## 《総括》

### 1. 生活介護事業

令和6年度は、利用者の死亡や遠方への引っ越し、グループホームへの入所等の事情により、前年度と比べて契約者が5名少ない状況で始まった。その為、福岡市内や近隣地域の相談支援事業所及び通所事業所へ連絡を入れ、新規利用者の獲得に努めたが、利用者増には至らなかった。年度途中、当法人内の相談支援事業より、新規利用者の紹介があり、1名の方と契約を結ぶことが出来たが、依然契約者数は、少ない状況である。今後も、相談支援事業所と連携を取りながら年度途中での利用者獲得に努めるとともに、特別支援学校等の実習を通して新規利用者の獲得に繋げていきたい。職員に関しては、これまで常時2名体制であった看護師を3名まで増員し、常勤看護職員等配置加算の変更と併せて、新たに重度障害者支援加算の取得を行い、医療体制を充実させた。今後も、通所利用者が安心安全に利用できるよう、努めていきたい。

### 2. 相談支援事業

「総合相談に対応できる人材育成及び専門性の向上」は、ケース会議を行う他、地域の相談支援事業所に対しグループスーパービジョンを定期的に開催した。総合相談に対応するためには、経験年数や得意分野に応じた人材育成が今後の課題となる。「地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築」は、地域課題検討に加え、相談支援ネットワーク会議、はかた暮らしネットワーク会議、精神保健福祉ネットワーク会議等を開催し、ネットワーク構築に取り組んだ。「地域福祉の基盤づくり」は、広報誌発行、民生委員児童委員定例会への参加、SEねっと（東と博多の重心・医ケアねっと）を開催した。また、「博多区第2基幹圏域共同体」を令和7年1月から発足させた。障がいのある方の重度化、高齢化や「親なき後」の生活の安心も見据え、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくように、地域生活支援拠点等の整備を進めていきたい。

### 3. 放課後等デイサービス事業

令和6年度は、他事業との交流を積極的に行った。生活介護のイベント行事には、可能な限り参加をし、利用児童が色々と経験できるよう努めた結果、生活介護事業の見学や実習に繋げることができた。職員体制に関しては、年度の途中から1名の職員が育児休暇に入ったが、新たに保育士を1名増員し、安定した事業の運営に努めた。また、他事業からの職員による兼務体制の見直しを行い、これまでに無かった生活介護事業からの兼務体制や同事業に従事しているパート職員の配置を行った結果、事業開設後初めて1日の平均利用者数が5名を超えるとともに、3期連続で黒字となつた。

## 生活介護

### 1. 親亡き後を見据えた自立支援を行う

- (1) 保護者との面談時に将来の生活を見据えたニーズの聞き取りを実施。
- (2) 利用者本人及びご家族と話し合い、将来のグループホーム等での生活を見据えた上で必要となる課題を計画に入れ、日中支援の中でトレーニングを実施した。
- (3) 利用者本人及びご家族にグループホームや短期入所等の見学を勧め、準備のサポートを行った。
- (4) 他法人のグループホームに入所されている利用者の悩み相談とメンタルケアを実施。
- (5) 利用者と保護者のニーズを踏まえ、グループホーム入所前及び入所後の利用者への支援を関係者と継続して行った。

## 2. 保護者・家族や各関係機関等との連携を深める

- (1) 利用者の体調・病気・怪我等の際には保護者・家族・グループホーム・相談員と連携し、担当者会議を実施した。その際には、各関係機関と情報共有及び今後の支援の方向性などを整理した。
- (2) 利用者の体調面などに不安がある際は保護者やグループホーム等と連携して医療機関への確認を行った。

## 3. 職員の指導・育成

- (1) スキルアップと職員の課題解決・向上を目的とした研修を実施した。
- (2) 事故や怪我等が発生した際は、当事者職員へのフィードバックと現場職員での事例検証、啓発を行い、職員の更なるスキルアップを図った。
- (3) 職員全員で集まる研修が実施出来ていない為、今後は計画の上、実施する。

## 4. 地域交流及び啓発

- (1) 施設近隣の学校や保育園等と一緒に秋祭り in みかさが開催された。施設職員は実行委員として携わり、利用者と支援員が数名、イベントに参加し、近隣の方々との交流を楽しんだ。また、自立の里の販売ブースを設け、利用者の制作したグッズ販売を行った。
- (2) 施設近隣の地域清掃や催しに職員が参加をし、地域の方々と交流を深めた。
- (3) 西日本短期大学の学生や先生方との交流授業を行い、障がい者への理解促進と関係性の構築を行った。
- (4) 施設の花の植え替えを外部の施設に依頼し、利用者が植え替え作業を一緒に行いながら他施設の職員及び利用者と交流を図った。
- (5) 地域との関係性が途切れないよう、今後もイベント等へ継続した参加や企画を行っていく。

## 5. 利用者の増員・利用率の向上

- (1) 利用者の契約に関しては引っ越し・施設入所・死亡等により減少したが、面談や催し前には積極的に声掛けを行い、利用率の向上に繋げた。
- (2) 特別支援学校からの実習生受け入れを行い、体験実習後は翌年度利用へと繋げた。
- (3) 今津特別支援学校のPTAと進路指導の教員と連携し、保護者向けの事業者説明会を開催し、保護者の方々へ自立の里の説明とPRを行った。
- (4) 相談支援事業所と連携を図り、年度途中での契約者の獲得に努めたが、結果1名増に留まった。

## 6. 感染症への柔軟な対応・対策

- (1) マスク着用の徹底に努めた。
- (2) 利用者及び職員本人などの発熱や症状等に対して医療機関への受診を進め、早期対応に努めたものの、年度末に利用者間で10数名を超える感染者が発生した。
- (3) 衛生委員会等で嘱託医と連携し、医師の見解や判断を参考にしながら、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスなどの感染症の現状を把握し、適宜、施設内での感染予防に取り組んだ。
- (4) 今後も衛生委員会や感染対策委員会などと連携し、感染症への早期対応を行っていく必要がある。

## 参考資料



【 夏祭り 】



【 クリスマス会 】



【第13回くばらだんだんアート受賞作品】



「ひらめいたら出てくる♪」

「自然いっぱいフルーツパフェ」

## 7. 地域交流イベント

イベント名	開催日	内 容
西日本短期大学との交流授業	6月26日（水） 12月20日（金）	当法人から2名の利用者が参加し、西日本短期大学の学生や先生方との交流を行い、障がい者への理解促進、関係性の構築を図った。

#### 8. 月別利用実績（定員40人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数 (日)	22	23	22	23	22	22
契約者数 (人)	46	46	46	45	45	45
平均利用者数 (人)	35.1	36.1	34.0	33.1	33.5	34.6
利用率 (%)	76.4	78.5	74.0	73.6	74.4	77.0

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数 (日)	23	22	23	22	20	23
契約者数 (人)	45	46	45	45	45	45
平均利用者数 (人)	34.0	34.3	32.8	33.7	34.0	31.3
利用率 (%)	75.5	74.6	72.9	74.8	75.6	69.7

#### 9. 年度別利用実績

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
開所日数 (日)	267	268	266
契約者数 (人)	45.3	50.3	46.8
月平均延べ利用者数 (人)	754	834	837
平均利用者数 (人)	33.9	37.3	37.6
利用率 (%)	74.8	73.6	80.3

#### 10. 土曜等のイベント状況

実施日	名称	内 容	参加人数 (人)
4月20日(土)	歓迎会	お菓子を食べながら新しい支援員の紹介を行い、親睦を深めた。	36/46
6月 8日(土)	ボッチャ大会	利用者のストレス解消や親睦を深めながらボッチャを楽しんだ。	35/46
7月 20日(土)	夏祭り	施設内で出店コーナーを設け、お祭りの雰囲気や季節感を楽しんだ。	33/45
8月 24日(土)	展覧会	利用者の特色や個性を活かした作品を披露し、アート活動に対する興味を深めた。	37/45
9月 21日(土)	お茶会	お菓子を食べながら他グループの利用者や職員との交流を図った。	34/45
11月 9日(土)	運動会	施設内で運動会を開催し、職員や利用者、ボランティアとの交流を深めた。併せて健康保持の増進に努めた。	38/46

実施日	名称	内容	参加人数 (人)
11月16日(土)	秋祭り in みかさ 2024	施設近隣(隅田町内)の地域交流として秋祭りを実施。バザーやイベントが実施された。	34/46
12月21日(土)	クリスマス会	クリスマスプレゼントの贈呈と頂いたクリスマスケーキを皆で頂き、クリスマス会を楽しんだ。	34/45
1月11日(土)	新春コンサート	楽団を招き音楽に触れることでストレス解消やリラクゼーション効果を促し、施設外の人との交流を図った。	31/45
1月18日(土)	二十歳を祝う会	施設内で20歳を迎える利用者とその家族を祝う会を行った。	33/45
2月 8日(土)	展覧会	テーマを決めて作品を作り、作品への思いやアート活動に対する利用者の興味を深めた。	36/45
3月29日(土)	お疲れ様会	1年間お疲れ様を込めて、施設内の人と交流を楽しんだ。	32/45

#### 1.1. 健康管理実施状況

実施日	内容	実施者	人 数 (人)	
6月21日(金)	職員健康診断	福岡労働衛生研究所	職 員 45	45
9月10日(火) ～9月12日(木)	腰痛検査	伊藤整形外科 伊藤医師	職 員 24	24
11月25日(月)	インフルエンザ予防接種	博多駅南とくながクリニック 徳永医師(嘱託医)	利用者 18	19
			職 員 1	
12月27日(金)	利用者健康診断	博多駅南とくながクリニック 徳永医師(嘱託医)	利用者 44	44

## 1.2. 利用者個別指導実施状況

(1) 動作法 講師：昇地 勝人 氏

日付	グループ
4月23日(火)	B・D
5月28日(火)	C
6月25日(火)	A・C・D
7月23日(火)	B・C
8月27日(火)	A・B
2月25日(火)	B・D

※別途年2回、大空との合同研修(動作法講義)を行った。

(2) 作業療法(OT) 講師：原田 靖子 氏

日付	グループ
4月11日(木)	A・B・D
5月 9日(木)	A・B・C
6月13日(木)	A・D
7月11日(木)	A・B
8月 8日(木)	A・B・C
9月12日(木)	C・D
10月10日(木)	A・C・D
11月14日(木)	A・B・D
12月12日(木)	A・B・C
1月 9日(木)	B・C・D

## 1.3. 派遣研修実施報告

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
5月21日(火)	感染症予防の基本と企業における感染症対策の考え方	労働者健康安全機構	1
6月 7日(金)	実習指導者アップデート研修	福岡県社会福祉士会	1
6月14日(金)	職場における熱中症の予防	労働者健康安全機構	1
7月31日(水)			
8月 6日(火)	働く人人権研修	福岡市人権啓発センター	3
8月23日(金)			
9月 4日(水)			
9月 5日(木)			
10月 7日(月)	福岡県相談支援従事者初任者研修	福岡県社会福祉士会	1
11月27日(水)			
11月28日(木)			
12月 6日(金)	福岡県サービス管理責任者・児童発達支援管理者研修	福岡県社会福祉士会	1
7日(土)			
8月19日(月)	てんかん基礎講座	公益社団法人 日本てんかん協会	1
8月19日(月)			
20日(火)			
9月21日(土)	福岡県サービス管理責任者・児童発達支援管理者責任者実践研修	福岡県社会福祉士会	2
22日(日)			

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
9月11日(水)	社会福祉法人経営者セミナー(前期)	福岡県社会福祉法人 経営者協議会	1
12月19日(木) 1月22日(水) 2月21日(金)	福岡県相談支援従事者現任研修	一般財団法人 保健福祉振興財団	1
1月14日(火)	女性の健康管理	労働衛生管理研修会	1
2月12日(水)	社会福祉法人経営者セミナー(後期)	福岡県社会福祉法人 経営者協議会	1

#### 1.4. 内部研修

##### (1) 新入職員研修

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
4月18日(木)	新入職員研修① 職員待遇／庶務関係の諸手続き／収入支出	栗田課長 (大地)	6
4月25日(木)	新入職員研修② 障がい者福祉の歴史と制度／法人設立の経緯・歴史	石橋課長 (大地)	5
5月16日(木)	新入職員研修④ 医療面での障がい者の特性・注意点等	大楠看護師 (大地) 境看護師 (大空)	6
5月23日(木)	新入職員研修③ 障害者総合支援法のサービス／自立の里の事業概要	石橋課長 (大地) 久保田課長 (大地) 長澤課長 (第2基幹)	6

##### (2) 職員研修

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
5月2日(木)	家庭送迎での通所・早退時の対応 (E ラーニング研修)	内部講師	21
5月20日(月)	食事の提供方法と食事介助の注意点 (E ラーニング研修)	内部講師	21
5月24日(金)	汚物処理方法について (E ラーニング研修)	内部講師	21
5月31日(金)	AED講習	株式会社にしけい	10
8月1日(木)	三者面談を行う上での注意点とポイント (E ラーニング研修)	内部講師	21
9月5日(木)	家庭でできる食中毒予防のはなし	福岡市保健所	10

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
10月 4日 (金)	利用者に合わせたコミュニケーション ～利用者A・K様の場合～ (E ラーニング研修)	内部講師	21
10月 17日 (木)	BCP訓練の災害等研修	九州大学大学院 人間環境学研究院	全職員
10月 30日 (水)	BCP訓練 基礎知識	株式会社 A.LIFE	全職員
11月 19日 (火) 20日 (水) 21日 (木)	BCP訓練 手洗い研修	内部講師	全職員
1月 6日 (月)	利用者に合わせた介助方法と注意点 ～利用者K・F様の場合～ (E ラーニング研修)	内部講師	21
2月 6日 (木)	感染症対策(ノロウイルスと新型コロナ)	日本感染症医薬品協会	26
3月 6日 (木) ～3月 27日 (木)	BCP訓練 汚物処理研修	内部講師	25

※E ラーニング研修…インターネットを通じて学習や研修を行うことです。スマートフォンなど身近なデジタル機器を利用して受講します。

### (3) 大空との合同研修

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
9月 24日 (火)	動作法講義「症例ビデオ解説・質問への回答」	昇地 勝人 氏	10
2月 26日 (火)	動作法講義「症例ビデオ解説・動作法基礎知識」	昇地 勝人 氏	10

### 15. 消火・通報・避難訓練

日 程	訓練種別	参加人数 (人)	
5月 20日 (月)	水害・火災・震災時の避難訓練に向けての オンライン研修	職 員 30	30
5月 29日 (水)	総合訓練 (水害・通報及び避難誘導)	利用者 37 職 員 30	67
3月 14日 (金)	水害・火災・震災時の避難訓練に向けての オンライン研修	職 員 30	
3月 25日 (火)	総合訓練 (消火・通報及び避難誘導)	利用者 36 職 員 33	69

## 16. 支援活動参観

※ 別紙「令和6年度 支援参観ご家族アンケート」参照

## 17. 利用者アンケート

※ 別紙「令和6年度 利用者満足度調査アンケート」参照

### 日中一時支援

令和6年度の月平均利用件数は2.0件、年間利用件数は24件であった。

#### (1) 月別延べ利用者数

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	3	0	2	1	3	1	5	0	1	4	4	24

## 相談支援

### 1. 総合相談に対応できる人材の育成及び専門性の向上

- (1) ケース検討会議を週1回程度開催した。
- (2) 所内でのスーパービジョン（指導、助言等）を通じて人材育成を行い、地域の相談支援事業所に対し年9回グループスーパービジョンを実施した。
- (3) 地域の障がい児者の福祉全般に関する相談に対応するためには、職員の経験年数や得意分野に応じた人材育成が必要である。

### 2. 地域生活支援協議会の博多区部会運営、ネットワーク構築

#### (1) 博多区部会

委 員：福祉・介護保険課、健康課、博多高等学園、南福岡特別支援学校  
博多障がい者フレンドホーム、社会福祉協議会、福岡市発達障がい者支援センター  
オブザーバー：東福岡特別支援学校、福岡市基幹相談支援センター

実施日	名称	主な協議内容
5月16日	第1回	地域課題「成人期のひきこもり」
7月18日	第2回	地域課題「海外にルーツをもつ障がいのある方の居場所や支援」
9月19日	第3回	地域課題「登校しないあるいはしたくともできない障がいのある児童について」スクールソーシャルワーカーをオブザーバーとして招いた。
11月21日	第4回	地域課題「異性関係や性に関する知識への正しい理解が難しいことで、想定外の妊娠に至る。また、出産後も養育困難な状況が生じる。」
1月23日	第5回	地域課題「障がい当事者が養護者となる高齢者虐待ケースにおける課題」
3月27日	第6回	地域課題「8050問題～高齢分野と障がい分野の連携の必要性～」

#### (2) ネットワーク構築

##### ①相談支援事業所ネットワーク会議

相談支援ネットワーク会議を3回実施し、地域の指定特定相談支援事業所のスキルアップと人材育成を行った。

実施日	名称	内容
7月24日	第1回	障がいのある人の権利擁護～成年後見制度を学ぶ～【司法書士会】
10月25日	第2回	就労支援事業所との交流会
1月29日	第3回	事例検討会

## ②業種ごとのネットワーク構築

住まいや生活に関わるさまざまな機関が交流する機会として、生活介護、短期入所、居宅介護、グループホーム、相談支援を対象に研修会を実施した。

実施日	名称	内容
9月25日	第1回はかた暮らしネットワーク会議	「学校から地域へ」 コミュニケーションツールの活用
3月12日	第2回はかた暮らしネットワーク会議	『精神障がいの方の支援を行う上でのポイント』

## ③精神保健福祉ネットワーク会議

実行委員会にて、精神保健福祉ネットワーク会議の企画立案を行った。

実施日	名称	内容
8月21日	精神保健福祉ネットワーク会議	支援者情報をアップデートしよう ～博多区精神保健福祉交流会～
1月15日	精神保健福祉ネットワーク会議	「障害年金・生活保護制度について」
2月19日		

## 3. 地域福祉の基盤づくり

### (1) 啓発活動

広報誌を年4回発行。校区担当制により民生委員児童委員協議会に参加して、地域で抱える課題の掘り起こしとその解決に努めた。

### (2) 東と博多の重心・医ケアねっと（SEねっと）

SEねっと出席メンバーの中から事務局を誘致し、重心・医ケア児者の支援に関するコアメンバーで事務局会議を開催した。また、令和7年2月に「SEねっと事業所交流会」を開催した。

### (3) 地域生活支援拠点等の整備

認定拠点等との協働体制「博多区第2基幹圏域共同体」を令和7年1月から発足させた。障がいのある方の重度化、高齢化や「親なき後」の生活の安心も見据え、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らしていくように、地域生活支援拠点等の整備を進めていきたい。

#### 4. 職員の教育・研修の充実

実施日	研修名 及び テーマ	参加人数(人)
5月22日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修 (体系別研修)	1
6月18日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修 障がい者差別解消の推進・障がい者虐待防止の基礎	5
6月26日	高齢者権利擁護研修 成年後見制度の理解について	1
7月5日	成年後見制度利用促進研修会	1
8月5日	福岡県医療的ケア児等コーデネータースキルアップ研修	1
9月26日	福岡県知的障がい者福祉会 障がい児支援・虐待防止研修	1
9月21日・22日 10月1日・2日	強度行動障がい支援者養成研修 基礎研修・実践研修	1
10月2日	福岡市ひきこもり支援者等ネットワーク会議	2
11月20日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修 事例検討会	1
11月14日	ギャンブル等依存地域生活支援指導者養成研修	1
12月24日	区障がい者基幹相談支援センター コーディネーター研修 GSV	1
11月28日	触法障がい者支援スタートアップ研修	2
12月5日・6日	九州地区障がい者相談支援事業所合同研修会 大分大会	1
11月30日	社会的ひきこもりに関する連携支援研修会	1
12月23日	相談支援従事者向け障がい者虐待防止研修	1
12月11日	緊急時対応 (緊急時受入れ拠点事業所) ネットワーク	1
1月15日	令和6年度 地域共生シンポジウム	1
1月24日	高次脳機能障がい者支援セミナー	1
1月24日	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に 関する研修会	1
2月25日	区基幹相談支援センター コーディネーター研修 協働体制の実践	2
2月7日	第3回就労支援事業所研修会	1
2月18日・19日	相談支援従事者専門コース別研修 (人材育成)	1
2月20日	博多区要保護児童支援地域協議会研修会	1
2月28日	第2回就労選択支援学習会	1
3月5日	福岡県地域生活定着支援センター啓発セミナー	2

#### 5. ICT等の活用と働きやすい環境づくり

- (1) 個人情報保護の徹底の観点から、全職員に対し個人情報保護研修を行うとともに、相談支援システムについて、データの持出しができないような措置を講じた。
- (2) オンライン研修への参加や関係機関との連絡方法を工夫し、災害や感染症への対応力を強化した。
- (3) 新規採用職員に対するメンタルヘルスケアに配慮した。

## 放課後等デイサービス

### 1. 安定した事業収支の継続を目指した取り組み

- (1) 利用人数に関しては順調に増やすことができた。令和6年度は開設後初めて1日平均利用者数が5名を超える、前年度から0.4名増の5.1名となり、3期連続で黒字となった。
- (2) 新たに算定可能な加算について検討を行ったが、人員の体制や資格取得者の状況等により新規の加算取得には至らなかった。
- (3) 既存の利用者より利用日数を増やしたい希望が多くあったが、令和6年度は定員（5名）満了となる日が多く、これ以上利用者を増やすことが困難な状況であった。

### 2. スタッフの資格を活かした専門性の高い支援の提供

- (1) 年間の制作活動のスケジュールを立て、季節やイベントに応じた制作物を作成した。完成した作品は各家庭へ持って帰ってもらい、家庭での活動の振り返りに繋げることができた。
- (2) 昨年度に比べ、利用者的人数が増えたことや運転が可能な職員が減ったことにより、外出支援の提供の機会が少なかった。
- (3) 令和6年度の報酬改定により、①健康・生活②人間関係・社会性③運動・感覚④認知・行動⑤言語・コミュニケーションの5領域全てを含めた支援の提供が基本となり、経過措置期間の令和6年度については、保護者への聞き取りや事業内での協議を行い、7年度から本格始動ができるよう準備を行った。
- (4) PTやOTによる充実した専門的支援（リハビリ）の提供を行う為、各利用児の訪問リハビリや訓練施設へPTが出向き、見学を行った。その結果、見学で知り得た訓練内容を支援へ反映することができた。しかしながら、PT職員が年度の途中より育児休暇に入り、リハビリ職が少ない状況が続いた為、支援に支障が生じた。

### 3. 広報力、対外関係との繋がりの強化

- (1) 年間通してのS Eねっと事業所交流会に参加して、重心児・者に関わる施設の関係者との事例検討会や施設紹介等、情報交換を実施した。
- (2) 担当者会議参加の際は、当該会議を他事業所の職員との情報共有の場及び交流の場として活用し、積極的に利用児の情報共有や意見交換を行った。
- (3) 当法人の特色をPRするため、法人全体でホームページの刷新を行った。

### 4. 法人の各事業との業務連携

- (1) 他事業からの職員による兼務体制を見直し、これまでに無かった生活介護事業からの兼務体制や同事業に従事しているパート職員の配置を行い、職員体制の充実に努めた。
- (2) 卒業後の進路を見据えて、生活介護への実習や見学の依頼があった際には、必要な情報について円滑にやり取りができるよう努めた。現在、高校3年生が数名通所しているので、当法人の生活介護が進路先の候補となるように繋げていきたい。
- (3) 当法人の居宅介護事業や短期入所事業への利用希望があった際は、当該事業へ利用者の紹介を行いサービス提供に繋げた。

5. 令和6年度利用実績【年間利用延べ人数：1,481人／前年比：95人（+6.8%）】

項目／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開所日数(日)	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293 (合計)
利用人数(人)	134	127	123	132	126	119	131	128	121	104	110	126	1,481 (合計)
1日平均利用数(人)	5.4	5.3	4.9	5.1	5.3	5.2	5.0	4.9	5.3	4.7	5.0	5.3	5.1 (平均)

6. 契約者状況(令和7年3月31日現在)

(1) 通学先

区分	人数(人)
南福岡特別支援学校生	23（小学部 8、中学部 5、高等部 10）
他支援学校生(東福岡特別支援学校生)	1（高等部 1）
合計	24

(2) 男女比 【契約者数：24人】

(単位：人)

項目/学部・性別	合計		小学部		中学部		高等部	
	男	女	男	女	男	女	男	女
契約者数	17	7	6	2	4	1	7	4
実利用人数	13	5	6	2	3	0	4	3

※実利用人数とは、1年間に1回以上利用した方の数

7. 利用状況(各年度末時点)

項目／年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開所日数 (日)	293	292	287	294
契約者数 (人)	24	20	20	22
年間延べ利用者数 (人)	1,481	1,386	1,225	1,038
一日平均利用者数 (人)	5.1	4.7	4.3	3.5

## 障がい福祉サービス事業所 大 空

### 《総 括》

生活介護事業については、5月末に1名の利用者が退所したが、7月に新たな利用者1名を受け入れ、契約者は22名であった。そのうちの1名は、体調が整わず、通うことはなかった。開所については、268日を予定したが、コロナや天候により、3日閉所した。利用者の医療的ケアについては、年度途中に胃ろう手術を行った方1名を加え、計5名の方（胃ろう2名、吸引2名、導尿1名）が、日々、通所中にケアを受けた。

居宅介護事業については、グループホームに入所された利用者の身体介護サービスがなくなりしたことや利用者の入院等の影響により一時、サービス量が大きく減ったが、新規利用者の獲得や既存の契約利用者のサービスのニーズが増えたこともあり、再度サービス量を増やすことができた。

短期入所事業については、台風や感染症の影響もあり、昨年より利用者の利用日数は減ったが、他事業の兼務職員と連携することにより安定したサービスを提供することができた。他事業で感染症が流行った際には、居室や談話室等の消毒や掃除を徹底し、感染拡大防止を行いながら事業を継続することができた。

### 生活介護

#### 1. 毎日、安心して生活する場の提供

- (1) 継続して、施設内や送迎車内の消毒、また、職員は介助に入る前後に手指消毒を行い、感染症にかかるないよう、拝げないように取り組んでいたが、4月、コロナ感染者が12名出た為、閉所した。幸い、職員の感染は少なかった為、閉所は1日のみで、事業継続が出来た。
- (2) 月に2回バイタルチェックを行い、血圧や体重、BMI等の数値を記載した年間の表を持ち帰り、本人や家族、職員とで内容を共有した。また、利用者が体調不良の際などは、訪看や主治医、訓練先等にも見せることにより、入院へと繋がるケースは少なかった。
- (3) 利用者と職員の関係がうまくいかないケースがあり、利用者家族を含め、皆で話をした。その際、家族がどのように受け止め、考え、困っているか等、心の内を聞くことが出来た。

#### 2. 活動の幅を広げ、出席を増やす

- (1) イベントでは、外部の方を招致してのコンサートや、スイーツを手作りしてのC A F Eを開催した。数年ぶりに家族や他事業所の方等を招待すると、多くの来客があった。
- (2) 他事業所に出張教室を依頼し、皆で『ちぎり絵』をした。今までとは異なる『ちぎり絵』のやり方に、利用者や職員は良い経験となった。
- (3) 他事業所主催による、博多区の事業所対抗ボッチャ大会に参加した。事業所内でチームを作ることが初めての為、ルールや作戦の立て方等、ボッチャの楽しさを学んだ。

### 3. 職員の育成等の環境整備

- (1) 内部研修では、利用者個々の性格や病気について、また、虐待防止や身体拘束等の勉強会を実施し、具体的な内容について共有した。
- (2) 経験年数に応じた外部研修に参加し、他の事業所職員とやりとりをしながら学ぶことが出来た。
- (3) 仕事の効率化については、職員個々が計画的に予定を組みながら仕事に取り組んだ為、時間外労働の短縮や勤務間インターバルの充足に繋がった。

参考資料



10月 出張教室『ちぎり絵』



12月 西日本短期大学の学生に  
発表をする様子



1月 博多区の事業所対抗  
ボッチャ大会



1月 二十歳を祝う会



1月 二十歳を祝う会



3月 福岡県庁内 福岡よかもんひろば  
『花と生きる LIFE×LIVE  
FUKUOKA』に出展



3月 避難訓練  
布担架で階段を下りる様子

4. 月別利用実績（定員20人）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数 (日)	21	23	22	23	22	22
契約者数 (人)	22	22	21	22	22	22
平均利用者数(人)	15.9	18.7	17.4	18.9	17.8	18.9
利用率 (%)	72.1	84.8	82.7	86.0	80.8	85.7

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数 (日)	23	22	23	21	20	23
契約者数 (人)	22	22	22	22	22	22
平均利用者数(人)	18.0	17.8	17.7	17.1	17.7	18.1
利用率 (%)	82.0	81.0	80.4	77.7	80.2	82.2

5. 年度別利用実績

項目	令和6年度	令和5年度	令和4年度
開所日数 (日)	265	267	264
契約者数 (人)	22.0	23.0	21.0
月平均延べ利用者数(人)	394	411	383
平均利用者数(人)	17.8	18.5	17.4
利用率 (%)	81.1	84.0	82.9

## 6. 土曜等のイベント状況

実施日	イベント名	内 容	参加利用者(人)
4月 20 日(土)	歓迎会	新人職員 1 名、異動職員 1 名を歓迎し、自己紹介や質問をするなどして親睦を深めた。	18 / 22
5月 11 日(土)	母の日	日頃の感謝をこめ、プレゼントやメッセージを作った。	17 / 22
5月 25 日(土)	発表会	11 のサークルが活動内容を紹介し、入りたいサークルの鑑賞をした。	17 / 22
6月 22 日(土)	展覧会	テーマを『海の中の生き物』に決め、作品を作り展示した。	15 / 21
8月 13 日(土)	夏祭り	輪投げやワニワニパニック、お菓子を釣る等して祭りを楽しんだ。	17 / 22
9月 7 日(土)	コンサート	二胡ユニット『安弓弾』を招致し、沖縄音楽や音色を楽しんだ。	18 / 22
9月 28 日(土)	運動会	2 つのグループに分かれ、借り物競争や玉入れの競技、勝敗を楽しんだ。	17 / 22
10月 19 日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	チーズケーキやティラミス、ミートパイを手作りし、来客に振舞った。	17 / 22
11月 16 日(土)	秋祭り in みかさ 2024	利用者代表の 10 名は、隅田保育園児による演舞を観覧したり、食品や小物の買い物を楽しんだ。	10 / 22
12月 14 日(土)	忘年会	グループ毎に曲目を決め、カラオケを楽しんだ。	12 / 22
12月 21 日(土)	クリスマス会	くるみの会からのプレゼントやあおやぎ様からのケーキを受け取り、クリスマスの雰囲気を楽しんだ。	17 / 22
1月 31 日(土)	二十歳を祝う会	二十歳を迎える利用者 2 名の幼いころからの写真をスライドショーで流したり、花束贈呈や記念撮影を行い、皆で祝った。	20 / 22
2月 15 日(土)	雑貨 Café MOCO CAFE	チーズケーキや杏仁豆腐、キッシュを手作りし、来客に振舞った。	16 / 22
3月 1 日(土)	展覧会	テーマを『SPRING FEVER』に決め、作品を作り展示した。	14 / 22
3月 29 日(土)	お疲れ様会	今年度頑張った事や楽しかった活動を担当支援員と発表し、1 年を振り返った。	17 / 22

## 7. 健康管理実施状況

実施日	内 容	実施者	人数(人)	
6月 各日 9月 各日	職員健康診断	福岡赤十字病院 伊藤整形(腰痛検査)	職員 12 職員 9	21
11月 11日(月)	インフルエンザ予防接種	徳永クリニック (嘱託医)	利用者 8	18
12月 23日(月)			職 員 10	
	嘱託医訪問診察 (問診表による状態把握)	徳永クリニック (嘱託医)	利用者 21	21

## 8. 利用者個別指導実施状況

(1) 動作法 講師：昇地 勝人 氏

日 付	グ ループ
5月 14日(火)	K・S グループ
6月 11日(火)	K・P グループ
7月 9日(火)	K・D グループ
8月 13日(火)	P・D グループ
9月 10日(火)	S・P グループ
10月 8日(火)	K・P グループ

(2) 作業療法(OT) 講師：原田 靖子 氏

日 付	グ ループ
4月 18日(木)	P グループ
5月 16日(木)	K グループ
6月 20日(木)	D グループ
7月 19日(木)	S グループ
8月 15日(木)	K・S・P グループ
9月 19日(木)	K・P グループ

## 9. 内部研修実施状況

(1) 専門研究

実施日	研修名 及び テーマ	講 師	参加人数(人)
4月 23日(火)	『コロナウイルス感染症について』	内部講師	9
5月 22日(水)	『イレウス・腸閉塞とは』		6
6月 11日(火)	『令和5年度事業報告、令和6年度事業計画』		8
6月 20日(木)	『腰痛予防』		6
7月 29日(火)	『食事介助について』		9
7月 23日(火)	『伝える・聴き取る』		5
8月 20日(火)	『A. H様について』		7
10月 23日(木)	『ヒヤリハットについて』		7

実施日	研修名 及び テーマ	講 師	参加人数 (人)
10月23日(水)	『K. H様の実習について』	内部講師	7
11月19日(火)	『虐待研修、身体拘束』		11
11月26日(火)	『虐待研修 2』		7
12月19日(木)	『ノロウイルスについて』		9
2月24日(火)	『虐待研修 3』		8
2月25日(火)	『M. N様について』		6
3月25日(水)	『虐待研修 4』 『ハラスメントについて』		7

(2) 新任職員研修

実施日	研修名 及び テーマ	講 師	参加人数 (人)
4月18日(木)	『職員待遇』 『庶務関係の手続き』 『収入支出』	内部講師	2
4月25日(木)	『障がい者福祉の歴史と制度』 『法人設立の経緯・歴史』		1
5月16日(木)	『医療面での障がい者の特性・注意点等』		2

(3) B C P研修

実施日	研修名 及び テーマ	講 師	参加人数 (人)
9月15日(木)	『家庭で出来る食中毒予防』	福岡市保健所	2
10月17日(木)	『訓練の災害等研修』	九州大学 杉山 准教授	2
12月16日(木)	『感染症対策』	日本感染症 医薬品協会	7

(4) 動作法講義

実施日	研修名 及び テーマ	講師	参加人数(人)
9月24日(火)	『症例ビデオ解説・質問事項回答』	昇地 勝人 氏	3
2月26日(火)	『動作法とは・質問事項回答』		5

10. 派遣研修実施状況

実施日	研修名 及び テーマ	研修実施者	参加人数(人)
5月22日(水) 23日(木)	令和6年度 社会福祉施設職員研修 新任職員研修	福岡市社会福祉協議会	1
6月12日(水) 13日(金)	令和6年度 社会福祉施設職員研修 中堅職員研修	福岡市社会福祉協議会	1
6月26日(水) 27日(木)	令和6年度 福岡県相談支援従事者初任者研修	保健福祉振興財団	1
8月20日(火)	令和6年度 ホームヘルパースキルアップ研修 障がい児・者への支援	福岡市社会福祉事業団	1
8月28日(水)	安全運転講習	福岡県公安委員会	1
10月21日(月)	令和6年度 ホームヘルパースキルアップ研修 発達障がい	福岡市社会福祉事業団	1
10月30日(水)	令和6年度 第3回福祉レクリエーション研修	一般財団法人 保健福祉振興財団	1
10月30日(水) 31日(木)	令和6年度 福岡県サービス管理責任者または児童発達支援管理責任者 更新研修	保健福祉振興財団	1
12月4日(水)	令和6年度 利用者・家族とのコミュニケーション研修	福岡県社会福祉協議会	1
12月5日(木)	令和6年度 メンタルヘルスケア研修 一般職コース	福岡市社会福祉協議会	1
12月6日(金)	令和6年度 メンタルヘルスケア研修 管理職コース	福岡市社会福祉協議会	1
2月6日(木)	法律を通して親亡き後を考える	福岡市 障がい者 110番	1

11. 消火・通報・避難訓練

日程	訓練種別	参加人数(人)	
3月17日(月)	総合訓練 (消火・通報及び避難訓練)	利用者 16	31
		職員 13	
		警備会社 2	

12. 支援参観

※ 別紙「令和6年度 支援活動参観ご家族アンケート」参照

13. 利用者アンケート

※ 別紙「令和6年度 利用者満足度調査アンケート」参照

**日中一時支援**

令和6年度の月平均利用件数は、1. 2件、年間利用件数は15件であった。

(1) 月別延べ利用者数

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15

## 居宅介護

### 1. サービスの拡大と質の向上

- (1) 新たに7名と契約を結ぶことができ、前年度と比べて利用者のサービスのニーズが増えたことによりサービス提供時間を約370時間増やすことができた。
- (2) 利用者の入院等や体調不良によるサービスキャンセルが多かったことや、グループホームへの入居による身体介護サービスの減少で、収益の増収には繋がらなかった。
- (3) 収益の向上を目指した効率のよい職員や利用の調整を目指したが、登録ヘルパーが数名退職したため、困難であった。
- (4) 移動待機時間の時給を950円から1,000円に上げ、求人情報誌の掲載内容の見直しを行いながら登録ヘルパーの募集を行った。多く募集があった中で2名と雇用契約を行ったが、各自、家庭の事情により短期間の契約で終了した。その他にも応募はあったが、条件が合わず採用には至らなかった。

### 2. 職員の育成

- (1) 経験年数や個々の支援力に応じた施設内外の研修を実施し、支援力の向上を図ることができた。
- (2) 利用者の介助マニュアルを見直し、ヘルパー間で利用者の介助方法を共有し、均一のサービスを提供することができた。

### 3. 感染症対策の徹底

- (1) 感染拡大の恐れのあるサービスの際には、手指消毒やマスク・防護服の着用を徹底した。
- (2) 職員の発熱や症状に対して、素早い対応・サービス調整を行うことで感染拡大を防いだ。



◎いちご狩り



◎友人と計画を立てて外出



◎お花見



◎博多駅散策

#### 4. 利用者状況

区分	人 数(人)
大 空	8 ( 男性 4、女性 4 )
大 地	25 ( 男性 14、女性 11 )
外 部	38 ( 男性 22、女性 16 )
合 計	71 ( 男性 40、女性 31 )

#### 5. 利用状況

##### (1) 月別事業実績

###### ①身体介護

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数(人)	34	36	36	36	37	38
延利用件数(件)	389	431	394	427	401	412
延サービス時間(時間)	668.5	720.5	669.0	721.5	681.5	715.5

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数(人)	38	39	37	34	35	37	437
延利用件数(件)	450	394	373	332	354	389	4,746
延サービス時間(時間)	792.0	701.5	701.5	617.5	640.0	694.5	8,323.5

###### ②移動支援

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数(人)	27	33	31	29	27	34
延利用件数(件)	58	78	77	73	55	86
延サービス時間(時間)	203.0	290.0	240.5	260.0	237.5	357.0

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数(人)	33	36	32	31	32	35	380
延利用件数(件)	80	93	71	71	82	78	902
延サービス時間(時間)	325.0	352.0	257.0	290.0	301.5	312.0	3,425.5

###### ③家事援助

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数(人)	0	0	0	0	1	0
延利用件数(件)	0	0	0	0	2	0
延サービス時間(時間)	0	0	0	0	1.0	0

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数(人)	0	1	0	1	1	1	5
延利用件数(件)	0	1	0	4	4	4	15
延サービス時間(時間)	0	1.5	0	2.0	2.0	2.0	8.5

④有償サービス

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実利用者数(人)	1	1	3	2	2	2
延利用件数(件)	2	4	8	6	4	6
延サービス時間(時間)	1.0	2.0	6.0	3.0	2.0	3.0

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数(人)	3	3	4	1	1	2	25
延利用件数(件)	10	6	6	2	7	5	66
延サービス時間(時間)	6.5	4.5	5.5	1.0	3.5	6.5	44.5

(2) 年度別事業実績の推移

①合計

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実利用者数(人)	847	787	748
延利用件数(件)	5,729	5,687	5,720
延サービス時間(時間)	11,802.0	11,429.5	10,743.5

②月平均

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実利用者数(人)	70.6	65.6	62.3
延利用件数(件)	477.4	473.9	476.7
延サービス時間(時間)	983.5	952.4	895.3

6. 内部研修実施状況

実施日	研修名	講師	参加者(人)
4月15日(月)	事業計画について	内部講師	11
5月20日(月)	ヒヤリハットについて		10
6月20日(木)	安全運転研修／熱中症に関して学びと対策		10
7月25日(木)	オムツ着用研修①		11
8月22日(木)	オムツ着用研修②		10
11月22日(金)	虐待・身体拘束について		9
12月26日(木)	感染症・ノロウイルス予防研修		11
1月23日(木)	虐待・身体拘束について		11
2月18日(火)	倫理綱領及び行動規範 訪問介護の倫理及び法令遵守		10
3月24日(月)	非常災害対策計画について		11

## 7. 派遣研修実施状況

実施日	研修名	研修実施者	参加者(人)
4月24日(水)			
4月25日(木)	強度行動障がいを有する者の支援	国立障がい者 リハビリテーションセンター	4
4月26日(金)			
5月19日(日)	相談支援従事者初任者研修	保健福祉振興財団	1
6月12日(水)	社会福祉施設役職員研修	福岡県社会福祉協議会	1
6月13日(木)	中堅職員研修		
8月20日(火)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
9月25日(水)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
10月23日(水)	労務管理研修	福岡県社会福祉協議会	1
10月24日(木)	権利擁護に関する合同研修会	福岡県身体障害者施設協議会 福岡県知的障がい者福祉協会	1
11月1日(金)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉事業団	1
11月28日(木)	人権研修	福岡市社会福祉協議会	2
12月4日(水)	利用者・家族との コミュニケーション力向上研修	福岡県社会福祉協議会	1
12月6日(金)	メンタルヘルスケア研修 (管理職コース)	福岡市社会福祉協議会	1
1月15日(水)	ホームヘルパースキルアップ研修	福岡市社会福祉協議会	1
2月20日(木)	障害者虐待防止マネージャー研修会	全国社会福祉協議会	1

## 短期入所

### 1. 安定し、信頼されるサービス運営

- (1) 利用者の体調変化等があった際は、情報を職員間で共有し、安全を考慮して介助方法の統一を図った。兼務職員が支援に入った際に利用者が安心して過ごせるよう利用者の引継ぎ書の内容や引き継ぎ方などを見直した。
- (2) 居室や談話室等の消毒や掃除を徹底し、感染症対策に努めた。その結果、令和6年度は、事業内で感染症等が流行することはなかった。
- (3) 利用者・職員の安全や衛生面に配慮し、入浴等で使用する脱衣所と居室で使用するエアコン3台を新しいエアコンに取り換えた。

### 2. 利用日数の増加及び収益の向上

- (1) 利用予定者よりキャンセルの連絡があった際には、他の利用者への案内を積極的に行い、利用増加に努めた。しかし、外部での新型コロナウイルスなどの感染症の流行や、大雪等の天候不良による利用キャンセルが多くあった為、利用日数の増加には繋がらなかった。
- (2) 生活介護事業や居宅介護事業と連携した兼務体制により、利用者の安定した受け入れや緊急時の受け入れを実施することができた。



◎皆でトランプ



◎仲良くテレビ鑑賞



◎キャッチボール



◎笑顔で初利用

## 3. 利用状況

(単位: 件)

区分		男性		女性		合計
4月	1泊2日	25	30	21	22	46
	2泊3日	5		1		6
	3泊4日					52
5月	1泊2日	28	38	25	27	53
	2泊3日	10		2		12
	3泊4日					65
6月	1泊2日	29	38	18	23	47
	2泊3日	9		3		12
	3泊4日			2		61
7月	1泊2日	32	39	18	21	50
	2泊3日	6		1		7
	3泊4日	1		1		2
	4泊5日			1		60
8月	1泊2日	23	35	20	23	43
	2泊3日	10		2		12
	3泊4日	2				2
	6泊7日			1		58
9月	1泊2日	27	35	21	25	48
	2泊3日	8		2		10
	3泊4日			1		1
	4泊5日			1		60
10月	1泊2日	29	38	18	23	47
	2泊3日	8		4		12
	3泊4日	1		1		61
11月	1泊2日	22	34	19	22	41
	2泊3日	12		1		13
	3泊4日			2		56
12月	1泊2日	25	33	14	18	39
	2泊3日	5		1		6
	3泊4日	3		3		51
1月	1泊2日	28	36	19	22	47
	2泊3日	6		1		7
	3泊4日	2		1		3
	4泊5日			1		58

区分		男性		女性		合計	
2月	1泊2日	29	35	16	19	45	54
	2泊3日	5		2		7	
	3泊4日	1		1		2	
3月	1泊2日	27	35	16	20	43	55
	2泊3日	8		1		9	
	3泊4日			3		3	
合計	1泊2日	324	426	225	265	550	691
	2泊3日	92		21		113	
	3泊4日	10		15		25	
	4泊5日			3		3	
	6泊6日			1		1	
月間平均利用者数		35.5	22.1		57.6		

#### 4. 利用者の利用状況

(単位：人)

区分	男性	女性	合計
大地	221	178	399
大空	179	82	261
外部	26	5	31
合計	426	265	691

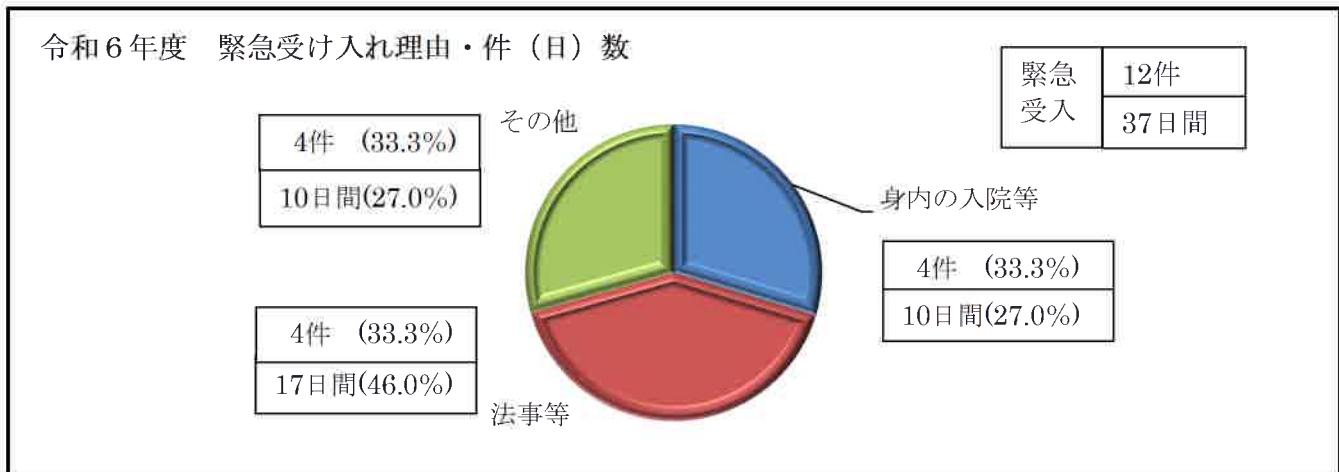
#### 5. 利用状況の推移（令和4年度～令和6年度）

(単位：件)

宿泊日数	6年度		5年度		4年度				
1泊 2日	男性	324	549 (1,098日)	男性	356	564 (1,128日)	男性	381	564 (1,128日)
	女性	225		女性	208		女性	183	
2泊 3日	男性	92	113 (339日)	男性	77	113 (339日)	男性	49	94 (282日)
	女性	21		女性	36		女性	45	
3泊 4日	男性	10	25 (100日)	男性	8	21 (84日)	男性	9	15 (60日)
	女性	15		女性	13		女性	6	
4泊 5日	男性	0	3 (15日)	男性	0	0	男性	1	1 (5日)
	女性	3		女性	0		女性	0	
5泊 6日	男性	0	0	男性	0	0	男性	1	1 (6日)
	女性	0		女性	0		女性	0	
6泊 7日	男性	0	1 (6日)	男性	2	2 (14日)	男性	0	0
	女性	1		女性	0		女性	0	
	女性	0		女性	0		女性	0	

宿泊日数		6年度			5年度			4年度		
合計	男性	426	691	(1,558日)	男性	443	700	男性	441	675
	女性	265	女性		257	(1,565日)	女性	234	(1,481日)	
	内 緊急受入れ			内 緊急受入れ			内 緊急受入れ			
12 (1.7%)			14 (2.0%)			18 (2.7%)				
月間平均		57.6			58.3			56.2		

## 6. 緊急受け入れ



## 7. 派遣研修実施状況

実施日	研修名	研修実施者	参加者(人)
6月17日(月)	東区・博多区短期入所ネットワーク会議	博多区第1障がい者基幹相談支援センター	2
11月26日(火)	地域生活支援拠点等整備事業研修会	博多区第1障がい者基幹相談支援センター	2

## 8. 職員の勤務状況

(単位:回)

月	夜間勤務			宿直勤務			日中勤務(土,日,祝)			合計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
4月	15	9	24	10	4	14	5	3	8	30	16	46
5月	18	11	29	11	6	17	4	4	8	33	21	54
6月	18	11	29	12	6	18	5	3	8	35	20	55
7月	19	12	31	12	7	19	5	7	12	36	26	62
8月	18	15	33	12	3	15	7	4	11	37	22	59
9月	17	14	31	8	5	13	5	4	9	30	23	53
10月	18	13	31	12	7	19	6	3	9	36	23	59

11月	19	12	31	11	5	16	6	6	12	36	23	59
12月	17	10	27	10	4	14	3	1	4	30	15	45
1月	18	13	31	9	4	13	3	2	5	30	19	49
2月	16	9	25	10	4	14	10	2	12	36	15	51
3月	17	11	28	10	6	16	6	7	13	33	24	57
合計	210	140	350	127	61	188	65	46	111	402	247	649
月間 平均	17.5	11.7	29.2	10.6	5.1	15.7	5.4	3.8	9.3	33.5	20.6	54.1

※夜間(17時～9時)・宿直(19時～9時)勤務は1泊2日で1回。日中(9時～18時)勤務は、1日で1回。